

大学番号：私075

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

芝浦工業大学大学院 理工学研究科国際理工学専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人芝浦工業大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 豊洲学事部大学院・MOT事務課

電話番号 03-5859-7420

F A X 03-5859-7421

e-mail daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学研究科

<国際理工学専攻（修士課程）>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費（省略）
4. 既設大学等の状況
5. 教員組織の状況（省略）
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人芝浦工業大学

(2) 大学名

芝浦工業大学

(3) 大学の位置

〒135-8548
東京都江東区豊洲3-7-5
〒337-8570
埼玉県さいたま市見沼区深作307
(〒108-8548)
(東京都港区芝浦3-9-14)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イガラシ ヒサヤ) 五十嵐 久也 (平成22年6月)		
学長	(ムラカミ マサト) 村上 雅人 (平成24年4月)		
学部長			
学科長等	(タカサキ アキト) 高崎 明人 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 国際理工学専攻(修士課程) 修士(理工学)	工学関係 理工学関係	2年	10人	20人	基礎となる学部等【工学部】 機械工学科、機械機能工学科、材料工学科、応用化学科、電気工学科、通信工学科、電子工学科、土木工学科、建築学科、建築工学科、情報工学科 【システム理工学部】 電子情報システム学科、機械制御システム学科、環境システム学科、生命科学科、数理科学科 【デザイン工学部】 デザイン工学科 【建築学部】 建築学科(平成29年4月開設)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	10人 10 (-) [-]	人 () []	0.9	
志願者数	() []	() []	() []	() []	10 (0) [8]	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	10 (0) [8]	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	10 (0) [8]	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	9 (0) [8]	() []		
入学定員超過率 B/A					0.9			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみ実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	9 [8]	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	9 [8]	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<理工学研究科国際理工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導科目	国際理工学研究（研究指導）		-	-	-	8	1					
	特別演習 1	1前	1			8	1					
	特別演習 2	1前	1			8	1					
	特別演習 3	1後	1			8	1					
	特別演習 4	1後	1			8	1					
	特別演習 5	2前	1			8	1					
	特別演習 6	2前	1			8	1					
	特別演習 7	2後	1			8	1					
	特別演習 8	2後	1			8	1					
	特別実験 1	1前	1			8	1					
	特別実験 2	1後	1			8	1					
	特別実験 3	2前	1			8	1					
	特別実験 4	2後	1			8	1					
授業科目	国際理工学特論	1前	2			3	1					共同
	海外プロジェクト研究	1・2前後		2		1						
	Material Science for Engineering	1前		2		1						
	High Pressure Science	1前		2		1						
	Structural Inorganic Chemistry under High-Pressure	1後		2		1						
	High-Pressure Synthetic Methods of Inorganic Materials	1後		2		1						
	Materials for Energy and Enviroment	1後		2		1						
	How to Write and Publish a Scientific Paper at International Journals	1前		2		1						
	Advances in Superconducting Cable Technology and its Applications	1後		2		1						
	Superconducting Materials: Synthesis and Characterization	1前		2		1						
	Mathematics for Electrical and Electronics Engineering	1前		2			1					
	Intensive course on Integrated Circuits Analysis and Design 1	1前		2			1					
	Intensive course on Integrated Circuits Analysis and Design 2	1後		2			1					
	General and Sustainable Chemistry	1前		2		1						
	Basic Molecular Spectroscopy	1前		2		1						
	Advanced Spectroscopy	1前		2		1						
	Micro Mechatronics	1後		2		1						
Ubiquitous Computing System	1前		2		1							
Advanced Materials Science	1後		2		1							

授 業 科 目	Statistical Signal Processing	1前	2	1					
	Data Communication Network	1後	2	1					
	Electronic Circuits and Systems	1前	2		1				
	Advanced PM Machine, Structure and Control	1後	2					兼	1
	Autonomous Mobile Robot System	1前	2					兼	1
	Advanced Power System	1前	2					兼	1
	Epitaxial Semiconductor Materials	1前	2					兼	1
	Advanced Electronic Circuit	1後	2					兼	1
	Advances in High Voltage and Power Apparatus Engineering	1前	2					兼	1
	Advanced Bioelectronics	1後	2					兼	1
	Advanced Quantum-Beam Applications	1後	2					兼	1
	Electric Power Control	1前	2					兼	1
	Nano Devices and Materials	1前	2					兼	1
	Optical Fiber Engineering	1後	2					兼	1
	Robot Task & System	1後	2					兼	1
	Wireless Communications Network	1前	2					兼	1
	Topics in Data Engineering	1後	2					兼	1
	Mobile Communication Networks	1前	2					兼	1
	Advanced Information System Engineering	1前	2					兼	1
	Advanced Computer Architecture	1後	2					兼	1
	Advanced Neural Engineering	1前	2					兼	1
	Advanced Antenna Engineering	1前	2					兼	1
	High Functional Materials	1後	2					兼	1
	Materials Chemistry	1後	2					兼	1
	Thin Film Physics	1後	2					兼	1
	Methods in Bio-inspired Nanomaterial Science	1前	2					兼	1
	Basic Physics in Electron Microscopy	1前	2					兼	1
	Bioelectronics Based on Chemical Engineering	1後	2					兼	1
	Environmental Analytical Chemistry	1前	2					兼	1
	Biorganic Photochemistry	1後	2					兼	1
	Chemical Biology	1後	2					兼	1
	Life Science	1後	2					兼	1
Energy and Water Treatment Based on Chemical Engineering	1後	2					兼	1	
Inorganic Materials Chemistry	1後	2					兼	1	
Basic Electrochemistry	1後	2					兼	1	
Organic Stereochemistry	1前	2					兼	1	
Neuro-Rehabilitation Engineering	1前	2					兼	1	
Human-Centric Robotics	1前	2					兼	1	

授業科目	Microscale Fluid Mechanics	1後	2						兼 1		
	Biomechanics & Injury Prevention	1前	2						兼 1		
	Experimental Thermo-fluid Engineering	1後	2						兼 1		
	Architectural Design Theory and Method	1後	2						兼 1	科目の統合の理由により、科目を廃止(29)	
	Architectural Design Theory and Method-Advanced	1後	2						兼 1	科目の統合の理由により、科目を廃止(29)	
	Architectural Design Theory and Practice	1後	2						兼 1	教育内容の充実の理由により、科目を追加(29)	
		未開講									
	Building Construction System and Construction Technologies in Japan	1前	2						兼 2	授業内容の検討や時間割調整の結果、平成29年度は未開講となった(29)	
	Architectural Planning	1前	2						兼 1	授業内容の検討や時間割調整の結果、平成29年度は未開講となった(29)	
		未開講									
	Life Cycle Design and Management of Housing	1後	2						兼 1		
	gPBL in Asia	1通	2						兼 1		
	gPBL in Europe	1通	2						兼 1		
	History of Architecture and Urban Design	1後	2						兼 1		
	Urban Planning and Design	1後	2						兼 1		
	Spatial Planning for Disaster Risk Reduction	1前	2						兼 1		
	Embedded Systems Engineering	1後	2						兼 1		
	Ubiquitous Networking System	1前	2						兼 1		
	Control Systems Engineering	1後	2						兼 1		
	Computational Models	1後	2						兼 1		
	Engineering Optimization	1後	2						兼 1		
	Robotics for Medical and Rehabilitation Field	1後	2						兼 1		
	Cardiovascular Engineering	1前	2						兼 1		
	Neurophysiology and Rehabilitation Engineering	1後	2						兼 1		
	Welfare Engineering	1後	2						兼 1		
	Advanced Biofluid Engineering	1前	2						兼 1		
	Topics in Mathematics	1前	2						兼 1		
	Topics in Mathematical Control	1前	2						兼 1	教育内容の充実と科目名を授業内容に合わせる理由のため科目の追加(29)	
	Digital Control Systems	1前	2						兼 1	教育内容の充実と授業内容に科目名と合わせるため当該科目名称を Topics in Mathematical Control という科目に新たに設定した。	
	Language Communication Studies in Engineering	1前	2						兼 1		
Advanced Driver Assistance Systems	1後	2						兼 1			
Adaptive and Optimal Control	1前	2						兼 1			

授業科目	科学コミュニケーション学	1通	2						兼 1	
	Advanced Research Paper Writing & Presentation	1前・後	2						兼 1	
	Global Engineering Management/国際技術経営工学	1後	2						兼 1	
	Global Internship/国際インターンシップ	1通	2						兼 1	
	Intensive Workshop/先端工学・技術経営融合型ワークショップ	1後	2						兼 5	
	Management of Intellectual Property/知的財産経営論	1後	2						兼 1	
	International Marketing	1通	2						兼 1	教育効果や教育内容充実のため科目の追加(29)
	Management of Innovation/イノベーション・マネジメント論	1後	2						兼 1	教育効果や教育内容充実のため科目の追加(29)
プロジェクトマネジメント	1後	2						兼 1	教育効果や教育内容充実のため科目の追加(29)	
授業科目	国際PBL	1後	2						兼 5	
	産学・地域連携PBL	1後	2						兼 5	
	理系英語論文の読解と応用	1前	2						兼 1	
	Instrumental Analysis in Materials Characterization	1前	2		1					
	Surface and Interface Science	1後	2		1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
13	95	0	108	13	97	0	110	
				[]	[2]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Buliding Construction System and Construction Technologies in Japan	2	1後	専門	選択	授業内容の検討や時間割調整の結果、平成29年度は未開講となった。しかし、平成30年度は開講予定である。
2	Life Cycle Design and Management of Housing	2	1後	専門	選択	授業内容の検討や時間割調整の結果、平成29年度は未開講となった。しかし、平成30年度は開講予定である。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	Architectural Design Theory and Method	2	1前	専門	選択	Architectural Design and Practicalという科目を新規に設定し、Architectural Design Theory and Method (講義)と Architectural Design Theory and Method-Advanced (演習)を統合し、教育の習熟度を上げるため一つの授業で講義と演習を実施。
2	Architectural Design Theory and Method-Advanced	2	1後	専門	選択	Architectural Design and Practicalという科目を新規に設定し、Architectural Design Theory and Method (講義)と Architectural Design Theory and Method-Advanced (演習)を統合し、教育の習熟度を上げるため一つの授業で講義と演習を実施。
3	Digital Control Systems	2	1前	専門	選択	教育内容の充実と授業内容に科目名と合わせるため当該科目名称をTopics in Mathematical Controlという科目に新たに設定した。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本年度開講科目については、ガイダンス時やWEBシラバスや授業時間割、掲示等にて周知をしている。未開講科目については、翌年度実施予定とし、本年度入学生への在学中での履修機会は設けている。廃止科目については、廃止科目の内容を含んだ新たな科目を開設し、対応している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{5}{108} = \boxed{4.62} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	芝浦工業大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部									
機械工学科	4	115	-	415	学士（工学）	1.08	昭和24年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地	H29.4より15名定員増
機械機能工学科	4	115	-	415	学士 （機械機能工学）	1.13	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
材料工学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.09	昭和31年度	同上	H29.4より15名定員増
応用化学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.12	昭和29年度	同上	H29.4より15名定員増
電気工学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.12	昭和25年度	同上	H29.4より15名定員増
通信工学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.11	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
電子工学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.10	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
土木工学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.12	昭和24年度	同上	H29.4より15名定員増
建築学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	昭和29年度	同上	H29.4より募集停止
建築工学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	昭和41年度	同上	H29.4より募集停止
情報工学科	4	115	-	415	学士（工学）	1.08	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
システム理工学部									
電子情報システム学科	4	115	-	415	学士（工学）	1.08	平成3年度	埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地	H29.4より5名定員増
機械制御システム学科	4	90	-	330	学士（工学）	1.08	平成3年度	同上	H29.4より10名定員増
環境システム学科	4	90	-	330	学士（工学）	1.15	平成3年度	同上	H29.4より10名定員増
生命科学科	4	115	-	415	学士 （生命科学）	1.13	平成20年度	同上	H29.4より5名定員増
数理科学科	4	75	-	285	学士 （数理科学）	1.05	平成21年度	同上	H29.4より5名定員増
デザイン工学部									
デザイン工学科	4	160	-	580	学士 （デザイン工学）	1.10	平成21年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地	H29.4より20名定員増
建築学部									
建築学科	4	240	-	240	学士 （建築学）	1.12	平成29年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号	H29.4 開設

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 修士課程													
電気電子情報工学 専攻	2	100	-	200	修士（工学）	1.18	昭和38年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地					
材料工学専攻	2	30	-	60	修士（工学）	1.39	昭和38年度	同上					
応用化学専攻	2	20	-	40	修士（工学）	1.55	昭和38年度	同上					
機械工学専攻	2	65	-	145	修士（工学）	1.54	昭和51年度	同上					
建設工学専攻	2	90	-	180	修士（工学）	1.28	昭和51年度	同上					
システム理工学専攻	2	50	-	100	修士 （システム理工学）	1.46	平成23年度	同上					
国際理工学専攻	2	10	-	10	修士（理工学）	0.90	平成29年度	同上					
博士（後期）課程													
地域環境システム専攻	3	10	-	30	博士（工学）又は 博士（学術）	0.66	平成7年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地					
機能制御システム専攻	3	8	-	24	博士（工学）又は 博士（学術）	1.58	平成7年度	同上					
専門職大学院 工学マネジメント研究科 専門職学位課程													
工学マネジメント専攻	2	28	-	56	技術経営修士 （専門職）	0.42	平成15年度	東京都港区芝浦3丁目9番14号	H29.4より募集停止				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	「該当なし」		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<大学院国際理工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
特になし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>大学院理工学研究科ではFD委員会を設置している。また、定期的にFD講演会も開催している。この他に、学部と合同で授業内容や授業手法の改善に組織的な研修も実施している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>大学院理工学研究科FD委員会は、毎月実施している。毎回3分の2以上の委員が参加している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会は、審議事項は定めず、教員の資質向上を目的としてFDやSDに関わる情報を提供している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 (以下c 改正状況に記載のとおり)</p> <p>b 実施方法 (以下c 改正状況に記載のとおり)</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>(本学大学院理工学研究科主催のFD委員会、FD講演会)</p> <p>第1601回大学院理工学研究科FD委員会 「研究倫理について」「3つのポリシーの義務化について」他 参加者:約15名</p> <p>第1602回大学院理工学研究科FD委員会 「3つのポリシーについて」「大学設置基準の一部改正について(SDの義務化)」参加者:約15名</p> <p>第1603回大学院理工学研究科FD委員会 「私立大学等改革総合支援事業について」 参加者:約15名</p> <p>第1604回大学院理工学研究科FD委員会 「各専攻の自己点検評価について」 参加者:約15名</p> <p>2016年度第1回大学院理工学研究科FD講演会 「研究倫理教育が目指すべきもの一単なる不正防止を超えて」 参加者:約90名</p> <p>第1605回大学院理工学研究科FD委員会 「大学院1年生向けメンタルヘルスガイダンスについて」 参加者:約15名</p> <p>2016年度第2回大学院理工学研究科FD講演会 「安全保障貿易管理体制について」 参加者:約90名</p> <p>第1606回大学院理工学研究科FD委員会 「平成28年度科学研究費女性事業の採択概要について(全国)」 参加者:約15名</p> <p>第1607回大学院理工学研究科FD委員会 「2016年度大学教育再生加速プログラム(AP事業)の進捗状況について」参加者:約15名</p> <p>第1608回大学院理工学研究科FD委員会 「大学設置基準の一部改正について(SDの義務化)」参加者:約15名</p> <p>第1609回大学院理工学研究科FD委員会 「認証評価制度等について」参加者:約15名</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>大学院理工学研究科FD委員会の委員や講演を聴いた教員が、所属専攻に委員会や講演内容等をフィードバックすることで、各教員の授業改善に役立っている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>授業評価アンケートに関しては、全授業科目を対象に各期(セメスター・クォーター)の最終授業日にアンケートを実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p> <p>教員や学生がアクセスできる学内ネットワークで公表をしている。</p>

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>本学では、学校法人芝浦工業大学評価委員会規程に基づき、点検・評価を実施している。本学では、毎年、大学、各学部・研究科毎に自己点検・評価報告書を作成している。国際理工学専攻は、新設の専攻のため今年度より自己・点検評価活動を実施する予定である。設置の趣旨・目的の達成状況については、今年度から作成する自己点検・評価報告書で自ら検証し、また外部評価委員からの評価・所見をいただく予定である。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・平成29年5月末 公表予定</p> <p>(平成28年度5月を基準日とした大学院理工学研究科の自己点検・評価報告書を公表予定。国際理工学専攻の自己点検・評価活動は、平成29年4月より始動するため、国際理工学専攻を含む理工学研究科の自己点検・評価報告書は、平成30年5月に公表予定。)</p> <p>b 公表方法</p> <p>・大学ホームページ上に公開予定（平成29年5月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・平成30年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受審予定。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ (<input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2017年 7月 1日)</p>
--